

平成28年4月1日現在

博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要 [公表]

機関名	大阪大学	整理番号	A02
1. 全体責任者 (学長)	※共同実施のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、取りまとめを行っている大学(連合大学院によるもの場合は基幹大学)の学長名に下線を引いてください。 (ふりがな) にしお しょうじろう 氏名・職名 西尾 章治郎(大阪大学・学長)		
2. プログラム責任者	(ふりがな) こばやし ただし 氏名・職名 小林 傳司(大阪大学・理事・副学長(教育担当))		
3. プログラム コーディネーター	(ふりがな) ふじた きくお 氏名・職名 藤田 喜久雄・教授(大阪大学・工学研究科・機械工学専攻教授)		
4. 類型	A <オールラウンド型>		
5.	プログラム名称	超域イノベーション博士課程プログラム	
	英語名称	Cross-Boundary Innovation Program	
	副題		
6. 授与する博士学位分野・名称			
7. 主要分科	(①) (②) (③) ※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入 専攻分野：文学、人間科学、法学、経済学、応用経済学、経営学、理学、医学、看護学、保健学、歯学、薬学、臨床薬学、工学、言語文化学、日本語・日本文化、国際公共政策、情報科学、生命機能学、学術 付記する名称：超域イノベーション博士課程プログラム		
	(①) (②) (③) ※ オンライン型は太枠に主要な細目を記入 総合系全分野全分科、人文社会系全分野全分科、理工系全分野全分科、生物系全分野全分科		
8. 主要細目			
9. 専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)	文学研究科文化形態論専攻、同文化表現論専攻、人間科学研究科全専攻、 法学研究科法学・政治学専攻、経済学研究科全専攻、理学研究科全専攻、 医学系研究科医学専攻、同保健学専攻、歯学研究科全専攻、 薬学研究科全専攻、工学研究科全専攻、基礎工学研究科全専攻、言語文化研究科全専攻、 国際公共政策研究科全専攻、情報科学研究科全専攻、生命機能研究科生命機能専攻		
10. 共同教育課程を設置している場合の共同実施機関名			
11. 連合大学院として参画している場合の共同実施機関名			
12. 連携先機関名(他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)	パナソニック株式会社、ダイキン工業株式会社、三菱電機株式会社、株式会社ベネッセコーポレーション、 株式会社キャンサーズキャン、株式会社健康都市デザイン研究所、一般社団法人アスリートネットワーク、 独立行政法人国際協力機構		

(機関名：大阪大学

類型(領域)：オールラウンド型

プログラム名称：超域イノベーション博士課程プログラム)

14. プログラム担当者の構成 計 67 名			
外国人の人数	1 人	[1.4 %]	女性の人数 7 人 [10.4 %]
プログラム実施大学に属する者の割合 [85.1 %]			
プログラム実施大学に属する者	57 人	プログラム実施大学以外に属する者	10 人
そのうち、他大学等を経験したことのある者	46 人	そのうち、大学等以外に属する者	8 人

15. プログラム担当者

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成28年度における役割)
(プログラム責任者) 小林 傳司	コバヤシ タダシ		理事・副学長(教育担当)	科学哲学、科学技術社会論・理学修士	プログラムの責任者、総合計画会議議長
(プログラムコーディネーター) 藤田 喜久雄	フジタ キクオ		工学研究科・機械工学専攻・教授 未来戦略機構・第一部門長	設計工学・工学博士	プログラムの統括、総合計画会議副議長
三成 賢次	ミツナリ ケンジ		理事・副学長(総合計画、評価、広報担当) 法学研究科・附属法政実務連携センター・教授 コミュニケーションデザイン・センター・センター長	西洋法史、ドイツ法・博士(法学)	プログラムの企画と運営、総合計画会議構成員
佐藤 宏介	サトウ コウスケ		基礎工学研究科・システム創成専攻・教授 学際融合教育研究センター・センター長	計測工学・工学博士	プログラムの企画と運営、総合計画会議構成員、総務WG
平井 啓	ヒライ ケイ		経営企画オフィス・准教授	行動医学・博士(人間科学)	プログラムの企画と運営、総合計画会議構成員、総務WG、選抜審査評価WG
竹村 治雄	タケムラ ハルオ		サイバーメディアセンター・教授 教育学習支援センター・センター長	ヒューマンケア・博士(工学)	プログラムの企画と改善、教務WG
正城 敏博	マサキ トシヒロ		産学連携本部・教授	産学連携、知的財産・博士(工学)	プログラムの企画と改善、選抜審査評価WG
大竹 文雄	オオtake フミオ		社会経済研究所・教授	労働経済学、行動経済学・博士(経済)	プログラムの企画と改善、総務WG
平田 オリザ	ヒラタ オリザ		東京藝術大学・アートイノベーションセンター・特任教授、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター・招へい教授	演劇	プログラムの開発と改善、選抜審査評価WG
米山 雅武	ヨネヤマ マサム		パナソニック株式会社 採用センター 企画チーム チームリーダー	グローバル人材育成、学士(法学)	プログラムの開発支援と点検
伊藤 宏幸	イトウ ヒロユキ		ダイキン工業株式会社テクノロジー・イノベーションセンター リサーチコーディネーター	共同研究開発、技術経営企画	プログラムの開発支援と点検
菅 健一	スガ ケンイチ		三菱電機株式会社 先端技術総合研究所開発戦略部 企画グループ	研究企画(共同研究・国家プロジェクト・海外連携)・博士(理学)	プログラムの開発支援と点検
馬場 尚征	バハフ ナオユキ		株式会社ベネッセコーポレーション・大阪支社・支社長	教育事業・経営学士	プログラムの開発支援と点検
福吉 潤	フクヨシ ジュン		株式会社キャンサーズキャン 代表取締役	ソーシャルマーケティング、アントレプレナーシップ・MBA	プログラムの開発支援と点検
井垣 貴子	イガキ タカコ		株式会社健康都市デザイン研究所 代表取締役	都市政策、環境デザイン、医療福祉計画・修士(都市政策学)	プログラムの開発支援と点検
岡本 依子	オカモトヨリコ		一般社団法人アスリートネットワーク 副理事長	テコンドー指導・学士(人間科学)	プログラムの開発支援と点検
大西 靖典	オオニシ ヤスリ		独立行政法人国際協力機構 関西国際センター・所長	国際交流事業	プログラムの開発支援と点検
宮原 暁	ミヤハラ キョウ		グローバルイニシアティブ・センター・教授	社会人類学・博士(社会人類学)	プログラムの開発と改善、教務WG
上田 晶子	ウエダ アキコ		名古屋大学大学院国際開発研究科・准教授	開発学・博士(開発学)	プログラムの開発と改善
大谷 晋也	オオタニ シンヤ		国際教育交流センター・准教授	日本語教育学、言語社会学・修士(言語文化学)	プログラムの開発と改善、教務WG
松行 輝昌	マツユキ テルマサ		全学教育推進機構・大学院横断教育部門・准教授	アントレプレナーシップ・M.A.	プログラムの開発と改善、総務WG、教務WG

15. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成28年度における役割)
安部 有紀子	アベ ユキコ		グローバルアドミッションズオフィス・特任講師	教育社会学・博士(教育学)	プログラムの開発と改善
堤 研二	ツミ ケンジ		文学研究科・文化形態論専攻・教授	人文地理学・博士(文学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、選抜審査評価WG主査
藤田 治彦	フジタ ハルヒコ		文学研究科・文化表現論専攻・教授	美学、芸術学・学術博士	学生の履修支援と育成
檜垣 立哉	ヒガキ タツヤ		人間科学研究科・人間科学専攻・教授	哲学、現代思想・博士(文学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、総合計画会議構成員、教務WG主査
西森 年寿	ニシモリ トシキ		人間科学研究科人間科学専攻・准教授	教育工学・博士(人間科学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、教務WG、選抜審査評価WG
河森 正人	カワモリ マサト		人間科学研究科・グローバル人間学専攻・教授	東アジアの高齢者福祉に関する比較研究・博士(創造都市)	学生の履修支援と育成
高橋 明男	タカハシ アキオ		法学研究科・法学・政治学専攻・教授	法律学(行政法)・修士	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、総合計画会議構成員、選抜審査評価WG
浦井 憲	ウライ ケン		経済学研究科・経済学専攻・教授	理論経済学、数理経済学、経済思想・博士(経済学)	学生の履修支援と育成
廣田 誠	ヒロタ マコト		経済学研究科・政策専攻・教授	近代日本経済史・博士(経済学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、自己点検・外部連携WG
ウィラワン ドニ・ダハナ	ウィラワン ドニ・ダハナ		経済学研究科・経営学系専攻・教授	マーケティング・博士(経営学)	学生の履修支援と育成
大鹿 健一	オシカ ケンイチ		理学研究科・数学専攻・教授	位相幾何学・理学博士	学生の履修支援と育成
黒木 和彦	クロキ カズヒコ		理学研究科・物理学専攻・教授	物性物理学理論・博士(理学)	学生の履修支援と育成
小川 琢治	オガワ タクジ		理学研究科・化学専攻・教授	有機化学、ナノ化学・理学博士	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、教務WG
柿本 辰男	カキモト タツオ		理学研究科・生物科学専攻・教授	生物学・博士(理学)	学生の履修支援と育成
今田 勝巳	イマダ カツミ		理学研究科・高分子科学専攻・教授	生体高分子構造・博士(理学)	学生の履修支援と育成
中嶋 悟	ナカジマ サトル		理学研究科・宇宙地球科学専攻・教授	地球物理化学・理学博士	学生の履修支援と育成
金井 好克	カイ ヨシカツ		医学系研究科・医学専攻・教授	薬理学、医学博士	学生の履修支援と育成
井上 智子	イノウエ トモコ		医学系研究科・保健学専攻・教授	看護管理学・博士(医学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成
今里 聡	イマザト サトシ		歯学研究科・口腔科学専攻・教授	歯科材料学、生体材料学・博士(歯学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、教務WG
平田 收正	ヒラタ カズマサ		薬学研究科・創成药学・教授 グローバルコラボレーションセンター・センター長	応用環境生物学・博士(薬学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、選抜審査評価WG
橋本 均	ハシモト ヒトシ		薬学研究科・医療薬学専攻・教授	分子神経薬理学・博士(薬学)	学生の履修支援と育成
菊地 和也	キクチ カズヤ		工学研究科・生命先端工学専攻・教授	ケミカルバイオロジー・博士(薬学)	学生の履修支援と育成
生越 専介	オゴシ センスケ		工学研究科・応用化学専攻・教授	有機金属化学・博士(工学)	学生の履修支援と育成
民谷 栄一	タミヤ エイチ		工学研究科・精密科学・応用物理学専攻・教授	ナノバイオ工学、バイオセンサー・工学博士	学生の履修支援と育成
中谷 彰宏	ナカタニ アキヒロ		工学研究科・知能・機能創成工学専攻・教授	機械工学、変形体の力学・博士(工学)	学生の履修支援と育成
金子 真	カネコ マコト		工学研究科・機械工学専攻・教授	ハイパーヒューマン工学・工学博士	学生の履修支援と育成
田中 敏宏	タナカ トシヒロ		工学研究科・マテリアル生産科学専攻・教授	材料力学、界面制御工学、材料物理化学、資源循環工学、工学博士	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、選抜審査評価WG

15. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成28年度における役割)
尾崎 雅則	オザキ マサノリ		工学研究科・電気電子情報工学専攻・教授	電子工学・工学博士	学生の履修支援と育成
黒崎 健	クサキ ケン		工学研究科・環境・エネルギー工学専攻・准教授	原子力工学・環境材料工学・博士(工学)	学生の履修支援と育成、教務WG、履修生支援WG
木多 道宏	キタ ミチヒロ		工学研究科・地球総合工学専攻・教授	建築計画、都市デザイン・博士(工学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、総合計画会議構成員、自己点検・外部連携WG主査
加賀 有津子	カガ アツコ		工学研究科・ビジネスエンジニアリング専攻・教授	建築・都市計画・空間情報学・博士(工学)	学生の履修支援と育成
田谷 正仁	タヤ マサヒト		基礎工学研究科・物質創成専攻・教授	生物化学工学・農学博士	学生の履修支援と育成
三宅 淳	ミヤケ ジュン		基礎工学研究科・機能創成専攻・教授	生物物理学、細胞工学、バイオエネルギー工学・理学博士	学生の履修支援と育成
上田 功	ウエダ イサオ		言語文化研究科・言語文化専攻・教授	言語学・文学修士	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、教務WG
杉田 米行	スギタ ヨネユキ		言語文化研究科・言語社会専攻・教授	日米関係、日本医療保険制度史、アメリカ外交・Ph.D. (U.S. History)	学生の履修支援と育成
鈴木 睦	スズキ ムツミ		言語文化研究科・日本語・日本文化専攻・教授	日本語教育学・文学修士	学生の履修支援と育成
野村 美明	ノムラ ミナト		国際公共政策研究科・国際公共政策専攻・教授	国際私法、国際取引法、国際経済法、紛争解決法、リーダーシップ・法学修士	学生の履修支援と育成
松繁 寿和	マツシゲ ヒサカズ		国際公共政策研究科・比較公共政策専攻・教授	労働経済学、人事経済学、教育経済学、キャリアデザイン・博士(経済学)	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、総合計画会議構成員、総務WG主査
日比 孝之	ヒビ タカユキ		情報科学研究科・情報基礎数学専攻・教授	組合せ論・理学博士	学生の履修支援と育成
森田 浩	モリタ ヒロシ		情報科学研究科・情報数理学専攻・教授	オペレーションズ・リサーチ・博士(工学)	学生の履修支援と育成
萩原 兼一	ハギハラ ケンイチ		情報科学研究科・コンピュータサイエンス専攻・教授	ハイパフォーマンスコンピューティング・工学博士	学生の履修支援と育成
土屋 達弘	ツチヤ タツヒロ		情報科学研究科・情報システム工学専攻・教授	高信頼システム・博士(工学)	学生の履修支援と育成
東野 輝夫	ヒガシノ テルオ		情報科学研究科・情報ネットワーク学専攻・教授	情報工学・工学博士	学生の履修支援と育成
鬼塚 真	オニヅカ マコト		情報科学研究科・マルチメディア工学専攻・教授	データベース、ビッグデータ分析・博士(工学)	学生の履修支援と育成
松田 秀雄	マツタ ヒデオ		情報科学研究科・バイオ情報工学専攻・教授	バイオインフォマティクス・学術博士	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成、総合計画会議構成員、履修生支援WG主査
山本 亘彦	ヤマモト ノブヒコ		生命機能研究科・生命機能専攻・教授	神経科学・工学博士	プログラムの企画と改善、学生の履修支援と育成

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

【概要】

超域イノベーション博士課程プログラム(以下では、「本プログラム」と称す)では、専門領域、国境、既成概念、相場観といった、様々な「境域」を超えて社会システムを変革へと導くイノベーションを牽引し社会のあらゆる方面でトップリーダーとして活躍する人材の輩出を目指している。すなわち、所属研究科での教育研究を通じて培われる専門力を基盤としつつ、社会での実践のための力量としての汎用力を研究科横断型・副専攻方式のコースワークにより修得させることにより、未知で複雑で困難な課題の解決を先導するための超域力を持つ博士人材の育成に取り組んでいる。

【特色】

本プログラムでは、超えるべき境域、すなわち解決すべき課題として、1) 専門領域を超える、2) 文字情報偏重を超える、3) 国境を超える、4) 旧来の思考パターンを超える、5) 科学技術決定論を超える、6) 私的利益を超える価値観・倫理観、7) 独善的エリート主義を超える、8) 組織を超える、の8つを位置付けている。そのもと、超域力を持つ博士人材に求められるアクションとして、(専門を) 究める、(学際領域へ) 越える、(新機軸を) 創る、(全体像を) 現す、(人々と) 交わる、(組織として) 連なる、(プロセスを) 導く、(イノベーションに) 挑むの8つを具体化した上で、教育すべき内容を究と越に関わる Knowledge、交と連と導に関わる Skills、創と現と挑に関わる Integration に大別することを基盤として明確化し、一貫した学位プログラムを整備している。コースワークの内訳は、Integration に直結するコア科目群、Knowledge に関わる知識・教養系科目群(人文系、社会科学系、理工系、生命科学系、トランスディシプリナリー系)、Skills に関わる展開力系科目群(トランスフェラブルスキルズ、研究リテラシー)と実践的英語運用能力の育成と多言語の修得を図る言語科目群からなるラーニング科目群、課題発見から実践へと展開する各種活動であるアクティビティ科目群等から構成しており、全59科目(平成28年度)を新たな文理統合型教育として独自に開発・提供している。一連の科目は、研究室エクスプローラーや海外フィールドスタディを通じた学ぶべき事項や解くべき課題の認識、要素としての知識やスキルの獲得、ワークショップやプロジェクトを通じたそれらの統合化、専門研究やインターンシップでの実践による強化からなる“学修のスパイラル”として組み立ており、一連の内容が紡がれて超域力として結実することを目指している。それらの中でも、統合化や強化に関わる部分では、中核科目として、履修生数名からなる文理混成チームが社会課題に挑み、課題発見・解決力を総合化する「超域イノベーション総合」を3年次に、現場に赴いて社会課題に挑み、課題解決力を実践し、磨き上げる「超域イノベーション実践」を4年次に配置している。

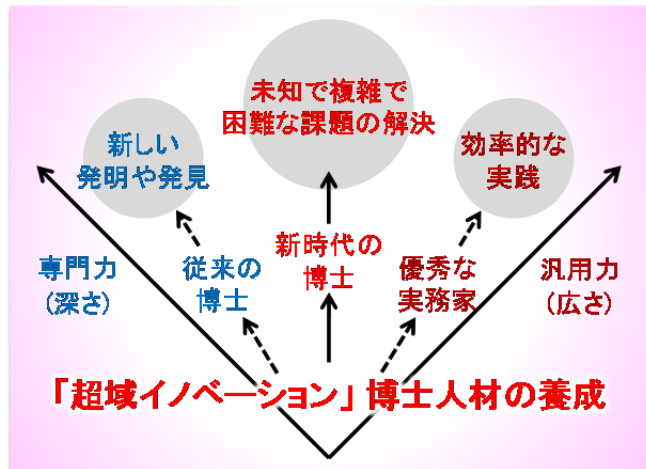
本プログラムには博士課程を有する全研究科への進学予定者が応募でき、知的体力を問う多段階方式により履修生を選抜しており、平成28年度の履修生66名は文理のバランスが取れた構成(人文・社会系：30名、理工系：27名、生命系：9名)になっている。さらに、5年一貫の博士課程に対して、コースワークの前期2年をBasicコース、後期3年をAdvancedコースとして、2年次末に、それまでのコースワークでの達成度と研究進捗状況に基づく進級審査を課し、BasicコースからAdvancedコースへの進級の可否を判定する。そして、3年次末のQualifying Examination(QE)において、超域イノベーションを牽引する博士候補生となり得るかを総合的に判定し、その後の発展的な学修と研究活動により、政財官民学界においてグローバルリーダーとなり得る博士人材を輩出しようとしている。

【優位性】

本プログラムでは、大阪大学における様々な大学院改革の実績を“社会でトップリーダーとして活躍する博士人材”を輩出するという一点に集約し先鋭的な取組を実施し、さらに、その持続的な発展、次世代の高等教育としての普遍的標準化という観点から本学の教育全般への展開を目指している。そのため、部局を超えて横断的な新たな学術のイノベーションを目指す未来戦略機構の第一部門として、プログラム担当教員に限らず、幅広い教員が企画や運営等に参画して、全学体制により推進している。加えて、国内外の多様なセクターとの相互理解と協力関係を築き、コースワークでは、実践家ならではの多数の科目を組み込むなどして、博士課程教育のオープンイノベーションを目指している。

学位プログラムの概念図

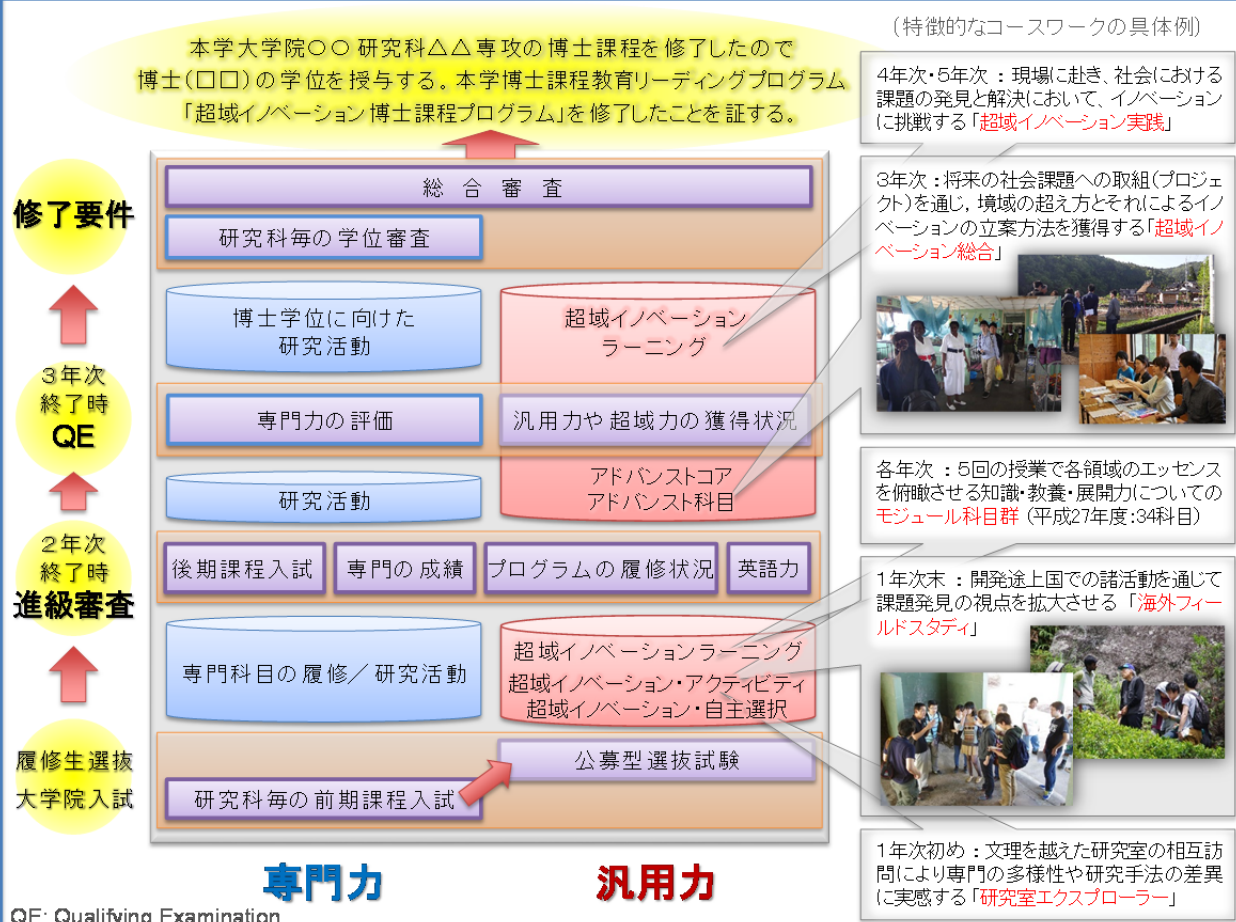
(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)



- 企画・運営体制**
 - 総長直轄の未来戦略機構において、第一部門として推進
 - 参画する全専攻からのプログラム担当者
 - 企業・NPO・国際機関からの学外プログラム担当者(8名)
- 教育実施体制**
 - 全部局からの選りすぐられた教員による全学出動体制
 - 学外者による実務家ならではの科目の提供(7科目)
 - ネイティブ教員2名による充実した英語教育の提供
 - 若手教員によるチューターの配置と学修のモニタリング
- 評価・改善のための体制**
 - 経済界と学界の有識者6名による外部評価委員会
 - 各界の第一人者からの助言や意見を求めるためのアドバイザーズ(6名)

(上記での人数等は平成27年度の実数に基づく)

大阪大学「超域イノベーション博士課程プログラム」



大阪大学における大学院教育の改革と実績

- 15件の21世紀COEプログラム
- 12件のグローバルCOEプログラム
- 25件の大学院GP(「魅力ある大学院教育」イニシアティブ13件、組織的な大学院教育改革推進プログラム12件)
- 高度教養教育「知のジムナステックス」(221科目)
- 高度副プログラム(35プログラム)
- 副専攻プログラム(3コース)
- インダストリー・オン・キャンパス(共同研究講座制度など)
- 大阪大学高度アジア人材育成プログラム
- FrontierLab@OsakaU